

「続・伝えましょう」ゲーム

目的

トランスポート層のプロトコルおよびサービスがデータ ネットワーク全域での通信をどのようにサポートするかを説明する。

- シナリオが与えられた場合、受講者は信頼性の高いメッセージングを使用すべきかどうかを決定します。また、最終メッセージが完全に正しかったかどうか、適切な時間で配信されたかどうか注目します。

背景/シナリオ

(注: 受講者がこの章の冒頭のモデリング課題を終了していることが必要です。この課題は 6 ~ 8 人の受講者で行うのが最も効果的です)

インストラクタが、グループの受講生の 1 人に対して、少々複雑なメッセージを小声で伝えます。メッセージの例: 「明日は猛吹雪が予想されます。朝に到来するはずです。授業を 2 時間遅らせますので、宿題を持って来てください」

このメッセージを聞いた受講者は、グループ内の隣の受講者に同じように伝えます。これを繰り返して、各グループのメンバー全員にメッセージを伝えます。ここでは次のルールに従ってください。

ここでは次のルールに従ってください。

- メッセージを短く区切って隣の人に小声で伝えることも、隣の人がメッセージを正しく聞き取ったことを確認した後にメッセージの各部分を繰り返すこともできます。
- メッセージの各部を再度確認したり、繰り返すこともできます (メッセージの各部分を正確に伝えるために、時計回りまたは反時計回りに行います)。1 人の受講者に、この課題にかかった時間を計測させます。
- メッセージがグループの最後まで届いたら、最後の受講者は自分が聞いたメッセージの内容を声に出して言います。メッセージを小さく区切った部分を繰り返したり (再送)、メッセージのすべての部分が完全に正しく配信されるようにプロセスを再開したりしても構いません。
- 最後に、インストラクタが元のメッセージを再び提示して、配信の質をチェックします。

復習

- このメッセージを使用して個人的なカレンダーや仕事用のカレンダー、学習予定表などに書き込む場合、メッセージを受け取ったときにその内容が明確で確実である必要がありますか。

- メッセージの配信に要した時間の長さは、送信者および受信者にとって重要な要因でしょうか。

- この章の冒頭のモデリング課題とこの課題を比較します。メッセージの配信に関してどのような違いがありますか。
